

2025 年の日本国際博覧会、通称「大阪・関西万博」が、大阪湾に浮かぶ夢洲（ゆめしま）を舞台に、世界中から多くの来場者を迎えて盛大に開催されています。1970 年の大阪万博から 55 年の時を経て、再びこの地で開催される国際的な祭典は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、2025 年 4 月 13 日から 10 月 13 日までの 184 日間にわたって、未来への新たなビジョンを発信し続けています。

会場のシンボルとして来場者を迎えるのは、世界最大級の木造建築物である「大屋根リング」です。このリングの内側には、世界各国のパビリオンが立ち並び、それぞれの文化や技術、未来への展望を競い合っています。各国のパビリオンでは、伝統的な文化紹介から最新のテクノロジーを活用した没入型の展示まで、多種多様な体験が提供されており、一日ではとても回りきれないほどの魅力に満ちあふれています。

今回の万博の核心をなすのが、「未来社会の実験場」というコンセプトです。これは、単に展示を見るだけでなく、来場者自身が参加し、未来の社会を「共創」することを目指すものです。例えば、会場内では次世代モビリティとして注目される「空飛ぶクルマ」が実際に運用されており、多くの来場者が未来の移動手段を体験しています。

また、「いのち」というテーマを深く掘り下げる 8 つの「シグネチャーパビリオン」も大きな注目を集めています。「いのちを知る」「いのちを守る」といった各テーマに沿って、著名なプロデューサーたちが監修したパビリオンでは、生命科学の最先端から、持続可能な社会のあり方、そして個々の生き方まで、多角的な視点から「いのち」について考えるきっかけを与えてくれます。中でも、大阪府と大阪市が出展する「大阪ヘルスケアパビリオン」では、「ミライ」をイメージした空間で、楽しみながら健康について学べるアトラクションや、週替わりで様々な企業や団体が展示を行うなど、訪れるたびに新たな発見があります。

食の都・大阪で開催される万博らしく、会場内のグルメも絆ゆ>絆 ∴絆 撰ソ托シ抵ス忍スクケ コアイウエオァィ
ゥェ縋ッ譚 ュ恰喧縋代エ縋ソ縋ソ縋ヲ識溯 縋ヲ退皮ヲ樞 包ソ搾シソ。繹ア竭 寶。多彩です。世界各国の料理はもちろん、日本の食文化の奥深さを伝えるレストランや、サステナビリティに配慮した未来の食を提案するフードコートなど、食を通じて万博のテーマを体感することができます。

大阪・関西万博は、国連が掲げる SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献することも重要な目的としています。各パビリオンの展示やイベントでは、環境問題、エネルギー、貧困、健康といった人類共通の課題に対する革新的なアイデアや解決策が数多く提示されており、訪れる人々に未来への希望と行動のヒントを与えています。

会期も残りわずかとなりましたが、会場は連日多くの人々で賑わい、未来社会への期待と熱気に包まれています。大阪・関西万博は、単なるイベントに留まらず、世界中の人々が知恵を交換し、より良い未来を共に創造していくための重要なプラットフォームとして、その歴史に名を刻むことになるでしょう。